

新料金システムが豊岡市で稼働開始

ウォーターリンクス

年以上前に旧システムを導入したが、OSの更新、新元号や消費税率改定等への対応のたびに改修費用を要していた。将来的なクラウド化にも対応していなかったことから、そこに向けた第一歩として新システムへの更新を行った。

新システムが搭載しているBIツールは、さまざまなデータを自動抽出・加工して活用できる。同部は新システムの導入により▽統計情報作成業務で72%▽一括調定更新業務で58%▽日時水量分析業務で50%▽口座請求データ作成(定例分)業務で33%▽納付書作成業務で33%▽督促状作成業務で25%——の作業時間を削減できたといい、「新システムの特徴を生かし、今後は業務フローの見直しや水需要のより詳細な分析などの業務改善にも活用していきたい」と期待を述べる。

豊岡市上下水道部は15

がる。また、すべての帳票の即時PDF化が可能で、必要なものを印刷することでペーパーレス化にも貢献する。オンラインヘルプ機能を搭載しているため、紙の説明書を開く手間も省ける。

◇ ◇

ウォーターリンクスの料金システムは、ブラウザ上で閲覧・操作できる上、法改正や税改正等のシステム改修は基本的に月額料金内で行われる。よって、こうした外的要因の変化に伴う改修コストを削減でき、都度の予算措置なども不要になるという。

同社は「導入された事業体の要望を最適化してアップデートすることにより、常に最新の状態でお使いいただける。今後はAIや外部コミュニケーションツール、水道スマートメーターなどのIoT機器との連携によるデータの活用を促進することで水道DXを実現し、水道事業経営の一層の効率化に貢献していきたい」としている。

ウォーターリンクスは7日、豊岡市で「Water Links水道料金計算システム」の本稼働を開始したと発表した。同システムは、さまざまなデータを自動抽出・加工できるBIツールを搭載しており、取得したデータを基に統計情報を容易に作成できる。また、標準機能が充実しているため、従来システム外で管理していた業務や手作業で行っていた業務の時間を大きく減らし業務を効率化することが可能になる。

豊岡市上下水道部は15